

2019 亥 年男、年女が語る。



亥年生まれの7名の方々に、昨年のできごとや日々の生活、2019年の抱負などを語っていただきました。皆さまにとって良い年になりますように。

● 昭和34年生まれ
遠藤 咲子さん (川南)

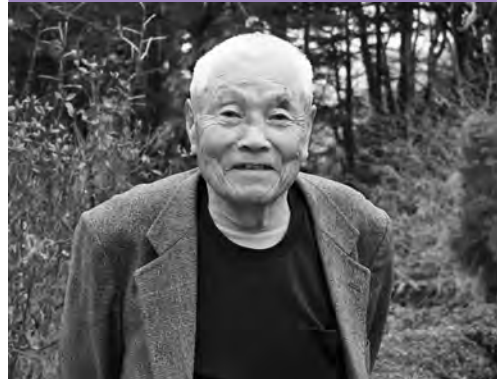
良き仲間恵まれて



「昨年は4人目の孫が産まれたの。冬の間はずっとスキー場に勤めていたけど、若い人にバトンタッチ。時間はできたけど、孫たちの面倒も見るし、けっこう忙しい日々かな」と話す遠藤さんは、仲間と会うことや旅行が楽しみとのこと。「楽しみを持つことが大事。人間、楽しみがないとね。友達関係も大切。信じあえる友達がいるのはいいよね。忙しくても家族が健康で自分の楽しみもある、今が一番いい時期かもしれない。それから、健康第一。私が弱っていたら、みんなが元気に成れないもの」と太陽のような笑顔で話してくれました。

● 大正12年生まれ
圓谷 朝吉さん (常元)

今日も元気に幸せに長生き



「昔は、米の飯はお正月しかあたらなかったな。今は食べるもの、遊ぶもの、交通面もいい。北見にもバスで行ける。昔に比べるといい時代だなあ」薪ストーブにあたりながら、そう語る圓谷さん。十代の頃から夏は農業、冬は山仕事と働いてきました。現在、薪割りも自らいり、山歩きも楽しいと話す圓谷さんに健康の秘訣を聞いてみると「おかしなことを考えないこと。つまらんことを考えたら、切り替える。美味しいものを食べて眠りたいときに眠る。戦争で外国に行った同級生のほとんどが死んでしまった。俺はおかげさんでこの年まで生かしてもらって、本当に幸せだよ」と笑顔で話してくれました。

● 昭和46年生まれ
井上 一味さん (秋田)

おけとの若者にエール



秋田で農業を営む井上さんは、同級生で結成したオトコマツリーズのメンバーとして、人間ばん馬などに参加しています。子どもたちを楽しませたいという思いから、盆踊りで出店も行っていきます。「ばん馬もあっち痛いこっち痛いと言いながら、やってるよ。売上金が貯まったら、子どもたちのために寄附している」と笑顔で語る井上さん。「おけとは若い人を応援して協力してくれるまち。青年活動などの繋がりは大切。OGFなど若いうちに色々やれるうちにやってほしい」と若者の活躍に期待する気持ちを話してくれました。